"QUEST FOR TRUTH" スピンオフ企画

athematics Room

平成28年4月18日発行

発行者:大城 英暉 (勝手にやってます)

知っているだけでは十分ではない。活用せよ。

意欲だけでは十分ではない。実行せよ。

ゲーテ (劇作家/ドイツ)

1. ノートの作り方について

誤答ノートなどを回収したとき,「やらされてる」 感満載で、やる気のないものがあったりします。ノー トの作り方を教えてもらってない、というのもあるで しょうが、「自分のため」という意識が完全に欠如し ているように思います。誰のために課題等は出題さ れているのでしょうか?やらされてる, と思っている 人は意識改革を。

さて、ノート作りですが、「見直しができる」「見 やすい」という点にポイントを置いてください。そ のために次のような方法を提案します。

① 余白を十分にとる, 行頭をそろえる。

見直したときに、新たな発見があったり、別解を思 いついたり、それらを書き込むスペースを作るこ と。また行をギッチリ詰めてしまうと読みにくくな るので、行間も少し空けて書くと良い。キーワード など書くために、最初ノートに線を引いて分割して から書く、というのも有効。行頭をそろえて書くと 見やすくなります。インデントをつけて読みやすく しましょう。

② 授業ノートでは先生のつぶやき, 自分の感情も書く

そうすると、そのときの授業の様子を再現しやす いそうです。板書と併せてこんなことを書くのは大 変かもしれませんが,ある本によると,「書くスピー ドは頭の回転のスピード」だそうです(^^;)。**私モが んば3つ・・・。**イラストとかも有効みたいです。

③ 鉛筆だけでなく, 赤ペンも使う

問題演習後は,必ず丸付けまで行う方が良い。間 違えた問題は赤ペンで訂正し、手がつかないような 問題で答えを写すときも赤ペンを使う。そうすれば 見直しのとき、どこを見れば良いか一目瞭然。

ときどき、人の勉強法を聞いたり、観察したりする と良いでしょう。いい勉強法を実践している人がい たら、真似てみよう。シックリ来るならそのまま続け れば良いし, 自分には合わないな, と思ったら, また新 たな勉強法を探してみよう。

2. 手を動かして書くことの重要性について

まず、我々の思考は、自分たちの使っている言語に よって規定されます。高度な概念などを理解、または創 造するためには、自分の持っている言語能力をフルに 活用しなければなりません。それがうまくいくため には、 **多くの語彙や正しい言葉の理解が必要**です。ま た他人とのコミュニケーションにおいても、誤解が生 じないようにするためには, **正しい言葉を正しく使うこ** とが必須です。

言語能力を向上させるのに, ただ頭の中で考える. というのは実はあまり効果がありません。頭の中で 考えていることって、意外とモヤモヤとしていて、輪 郭がはっきりしないイメージである場合が多いよう です。このモヤモヤしたイメージや感情を言葉にしては き出す, しゃべって済ませるのではなく, 文字にして 書き留める。どうにか無理矢理にでも言葉をひねり出 し、紡ぐことで思考が整理され、考えがより深まっていき

このように文章を書く訓練を続けていけば言語能 力と共に思考力もついてくる。 受験についていえば, 個別試験の記述解答の練習にもなるし、AO入試等の 志願理由書や小論文の訓練にもなります。

どうぞ、労を厭わず**手を動かして書く癖をつけて**くだ さい。体の一部を使うことで脳の活性化にも役に立 つみたいですよ。

だから・・・**授業中はとっても忙しい**はず!居眠り してる暇なんてないよ。

(言葉にしてはき出してみたらこんな風になっ ちゃった。散文・長文失礼しました。)

☆ 「QUEST FOR TRUTH 創刊号」掲載のQUEST (2016 京大 理系) について → 裏面へ

向陽高等学校研究推進部通信「QUEST FOR TRUTH」創刊号に掲載の QUEST について

(今回の QUEST)

素数 *p*, *q* を用いて

 $p^q + q^p$

と表される素数をすべて求めよ。

問題文では「すべて求めよ」とあるのですが、実際には【 **】個しかありません**。すぐに 見つかると思いますよ。

- lack 1 年生については、答えになっている p, q の組み合わせ以外の場合、 p^q+q^p がどんな数になっているか予想できれば良しとします。
- 2年生・3年生については数学 I・Aおよび数学 II (第1章 第1節)までの知識で解けます。 頑張ってみてください。